

# 長崎県



対馬

金田城

平戸城

佐賀県

島原城

福江城

原城

五島列島

新上五島町

佐世保

大村

諫早

長崎

長崎県

糸島

大牟田

久留米

岡



# 90 平戸城

--- 100名城 ---

2023.12.04

平戸瀬戸を望む  
松浦家代々の城

いくつかの名城では常設宿泊施設が準備されており、所謂「城泊」ですが、この平戸城では日本初の常設宿泊施設として開始されたそうです。



別名；亀岡城、亀甲城、日之嶽城

平戸城は1599年に松浦鎮信によって日之嶽城として築城を開始しましたが、完成間近となった1613年に徳川幕府への配慮から自ら城に火を放ち焼き捨てました。その後、鎮信は御館を建築して平戸藩庁として代々の居城としました。江戸時代中期に入り、5代藩主・松浦棟は東シナ海警備の必要性もあり、1704年2月に日之嶽城跡に城の再建を開始し、1707年に完成しました。



天守閣

沖見櫓

見港櫓

ガイドブックより



登城口



本丸表門



本丸門内側



# 91 島原城

--- 100名城 ---  
2023.12.06



別名；森岳城・高来城

キリシタン大名・有馬晴信が治めていた島原の地に、大和五条から移封した松倉重政が築城した城。重政の行った激しいキリシタン弾圧は、1637年の島原の乱の引き金となった。明治に入り廃城となるが、1964(S39)年に天守閣をはじめ櫓の復元が行われ、安土桃山様式の荘厳な姿に蘇った。



九州外様大名への押さえに築かれた巨大天守の城

せっかくの登城でしたが、工事中 (11/27~12/18) で中には入れませんでした。残念！

お城の真横の駐車場は車泊可能で、またキャンピンググトレーラーの貸し出しもありました。珍しい！

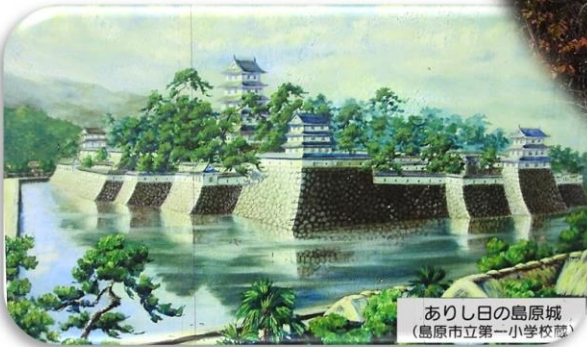


キャンピンググトレーラー



本丸を望む

左から天守・巽三重櫓・丑寅三重櫓  
折れを伴った高石垣も見事



ありし日の島原城  
(島原市立第一小学校蔵)



再建された天守

森岳城、高来城



# 186 金田城

---続 100名城 ---  
2023.12.08

倭国を守るため対馬に  
築かれた古代山城

別名: 金田城(かなたのき)



金田城は7世紀に築かれた古代山城(朝鮮式山城)です。663年の「白村江の戦い」に敗れた倭国が唐・新羅に対する防衛のために、対朝鮮半島防衛の最前線として築かれた城で、『日本書紀』にも記述があります。山頂部に石塁、山の周囲を取り巻くように石垣が築かれ、防人宿舎など中枢機能があったと考えられています。

長崎県

FB-198



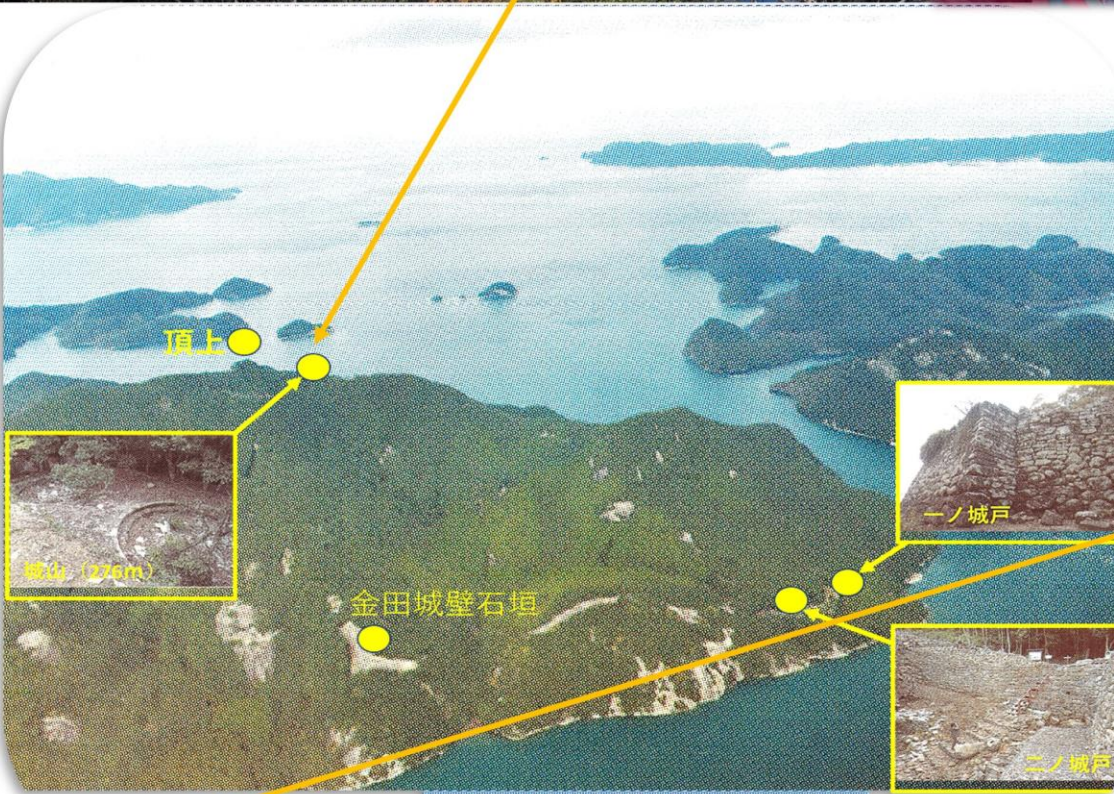
九州には先に述べたように、たくさん  
の防衛城が建設されています。  
182水城・86大野城・184基肆城・  
189鞠智城etc.



金田城跡碑

登山口からあまり高低差のない一ノ城を目指しましたが、道を間違え途中で気が付きましたが(比較的なだらかな上り)、体調が良くこれだったら城山まで行けそうだと思いそのまま目指しました。城山は本当に気持ちよくロケーションも最高でした。

城跡あとに日露戦争時に対馬海峡に向けて築かれた砲台跡があります。



登山口

金田城全景(南東から)

パンフより

城めぐりチャンネル



# 187 福江城

---続 100名城 ---  
2023.12.05

江戸時代最末期に  
完成した海城



別名； 石田城



福江城は幕末の1863年に福江藩最後の藩主である五島盛徳が完成させた五島氏の居城で、「日本最後の城」「日本一新しい城」として知られています。海上防衛や異国船の来訪に備えるために幕府から建築を認められたこともあり、城内には台場(砲台)が設けられていました。遺構としては石垣や石橋のほか、城の裏門である蹴出門が現存しています。

五島の福江港からほど近くに福江城(石田城)がありました。下調べでの本丸跡は「五島高校」となっており、裏門から途中まではOKでしたが、本丸門から中へは入ることはできませんでした。その北側には五島氏庭園があり(休館日でしたが)中に居られた事務員さんのご厚意で庭園の撮影をさせていただきました。



五島氏庭園



表門の五島高校看板



門内の高校入口



正面



外堀と搦手門(蹴出門)



福江城と周辺城下町

福江城ジオラマ



# 188 原城

--- 続100名城 ---  
2023.12.06



別名； 春城、志自岐原城、日暮城、有馬城

元和の一国一城令で廃城となった原城で1637年に「島原の乱」が勃発した。島原藩主の松倉重政・勝家父子は財政逼迫により過酷なキリシタン弾圧を行ったことにより農民一揆が勃発し、島原半島のみならず天草にも飛び火し、やがて一揆の群衆は天草の一揆群衆と合流、廃城となっていた原城に約3万7千人が立て籠もった。そこで小西行長の家臣の子孫といわれる天草四郎を総大将とし、組織立った籠城戦を展開して幕府軍と戦闘を繰り返しました。また、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界遺産に登録されています。



島原・天草一揆で  
天草四郎ら一揆軍が籠城

城跡案内所で電動アシスト自転車を借り、広い城跡(途中の二の丸・三の丸はきれいに開墾された畑)の中を漕いでいると本丸跡にぶつかります。またスマホでのVR画像が見られるアプリをDLして再現画像をたのしました。



世界遺産オブジェ

